

2017年12月期 第3四半期 決算説明会

井関農機株式会社
取締役 副社長執行役員
富安 司郎

2017年11月15日



(直進アシスト田植機 2017年12月発売予定)

目次

1. 2017年12月期 第3四半期業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2017年12月期 業績予想
4. トピックス

1. 2017年12月期 第3四半期業績の概要

※第3四半期業績のポイント

1～9月の状況(前年同期比)

国内販売会社

農機実売回復基調。収支構造改善効果継続

- 実売：実売102%、契約104%
- 直系販社の収支構造改善効果：営業利益+10億円

インドネシア 生産子会社 (PT. ISEKI インドネシア)

個社で黒字確保。事業全体で大幅改善

- インドネシア事業収益改善：営業利益+8億円
(井関単体、国内製造所含む連結ベース)

中国 持分法適用会社 (東風井関)

黒字回復。持分法投資損益改善

- 持分法投資損益改善：経常利益+10億円

第3四半期 連結業績の概要

(単位：億円、%)

	16/12期 3Q		17/12期 3Q		前年同期比 増 減
	実 績	比率	実 績	比率	
売上高	1,184	100.0	1,205	100.0	+21
(国内)	919	77.6	943	78.3	+24
(海外)	265	22.4	262	21.7	△ 3
営業利益	28	2.3	46	3.8	+18
経常利益	16	1.4	54	4.5	+38
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7	0.6	33	2.8	+26
為替 レート	米ドル	109.6	112.0		+2.4
	ユーロ	122.9	123.7		+0.8

国内売上高の内訳

(単位：億円)

		16/12期3Q 実績	17/12期3Q 実績	増減	前年同期比	
					備考	
農機 関連	農機製品	整地機	213	225	+12	トラクタ：+11
		栽培機	74	66	△8	田植機：△6
		収穫調製機	143	139	△4	籾摺機：△3
		小計	430	430	-	
		作業機	149	155	+6	
		部品	109	112	+3	
		修理収入	39	41	+2	
		小計	297	308	+11	
	計		727	738	+11	
	施設工事		43	56	+13	
その他農業関連		149	149	-		
合計		919	943	+24		

農機製品前年並み。作業機、部品、修理収入好調維持

海外売上高の内訳

(単位：億円)

	16/12期3Q 実績	17/12期3Q 実績	前年同期比	
			増減	備考
北米	94	60	△34	トラクタ : △33
欧州	75	85	+10	トラクタ : +5 芝刈機 : +5
中国	24	30	+6	田植機 : +9
アセアン	25	33	+8	コンバイン : +11
その他	16	21	+5	トラクタ : +5
製品計	234	229	△5	
部品その他	31	33	+2	
連結合計	265	262	△3	
中国事業を含む グローバル海外売上高合計	309	293	△16	※フランス子会社のみ9月決算のため、10-6月実績を連結している

グローバル海外売上高比率

25.2%

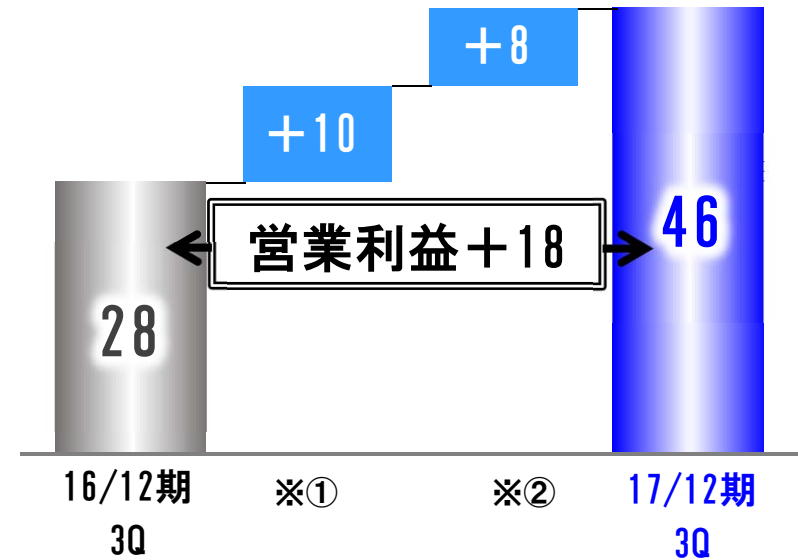
23.7%

北米取引条件変更により減収。以外の地域は好調

営業利益

(単位：億円、%)

	16/12期3Q 実績	17/12期3Q 実績	前年同期比 増減
売上高	1,184	1,205	+21
売上総利益	346	360	+14
粗利率	29.2%	29.9%	+0.7%
販管費	318	314	△4
人件費	186	184	△2
その他経費	132	130	△2
営業利益	28	46	+18



※① 国内直系販売会社の収支構造改善効果
※② インドネシア事業収益改善

【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+9	△5	△2	+2

国内収支構造改善、インドネシア事業収益改善が業績寄与

国内直系販売会社の収支構造改善効果

[作業機・部品・修理収入売上推移] (3Q累計)

(単位：億円)

	15/12期 3Q	16/12期 3Q	17/12期 3Q	前年 同期比	前々年比
作業機	138	149	155	+ 6	+17
部品	105	109	112	+ 3	+ 7
修理収入	36	39	41	+ 2	+ 5
計	279	297	308	+11	+29

農業構造変化

- ▶ 大規模化
- ▶ 作付転換

- 作業機、部品、修理収入の増加
- 大型整備拠点を核とした
営業拠点整備、人員の再配置等効率化

市場動向に左右されない収支構造の構築

経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	16/12期3Q 実績	17/12期3Q 実績	前年同期比 増減
営業利益	28	46	+18
金融収支	△ 5	△ 5	-
その他営業外損益	△ 7	13	+20
経常利益	16	54	+38
特別利益	12	1	△11
特別損失	△13	△ 6	+ 7
税 前 利 益	15	49	+34
税、税調整額	△ 8	△16	△ 8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7	33	+26

営業外損益増減内訳	
為替差損益	+ 7億円
持分法投資損益	+10億円

特別損益増減内訳	
投資有価証券 売却益(減)	△11億円
災害損失(減)	+11億円
違約金(増)	△ 4億円

持分法投資損益(東風井関)、為替差損益 好転

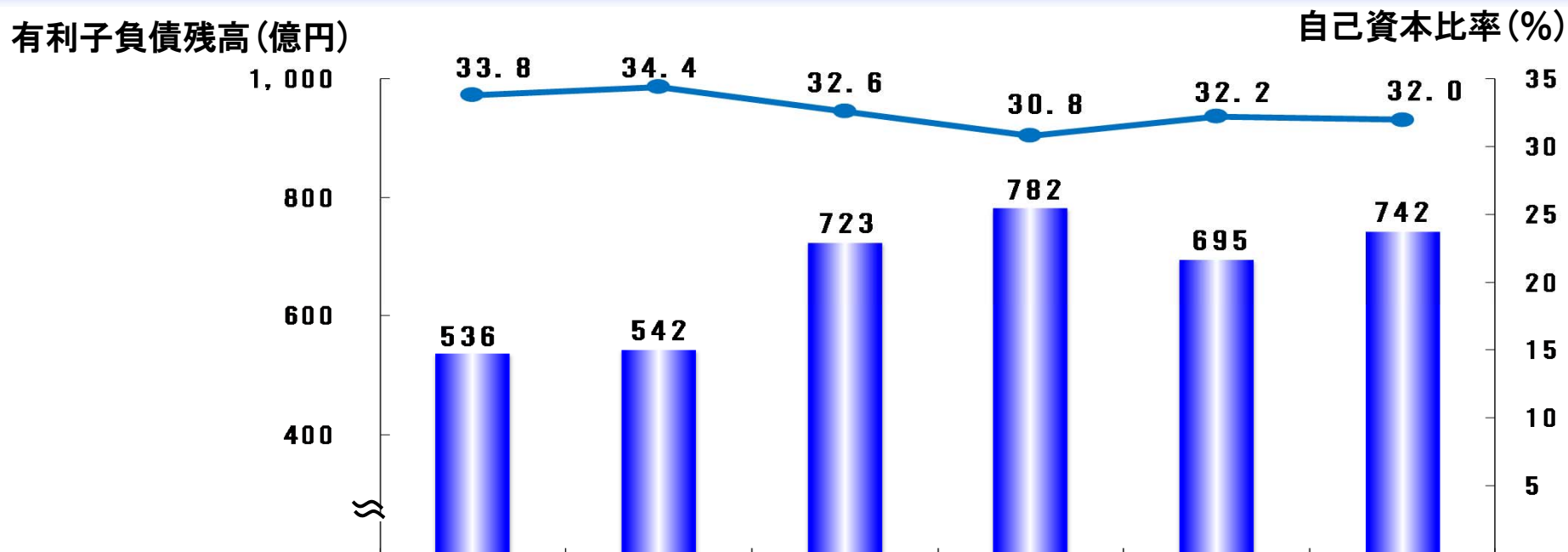
バランスシート(連結)

(単位：億円)

	16/9月末	17/9月末	増減		16/9月末	17/9月末	増減
現金	145	85	△60	仕入債務	402	464	+62
売上債権	336	368	+32	有利子負債	782	742	△40
棚卸資産	472	553	+81	(内借入金)	(697)	(671)	(△26)
(内製品・商品)	(400)	(476)	(+76)	その他負債	241	238	△3
その他流動資産	38	48	+10	負債計	1,425	1,444	+19
流動資産計	991	1,054	+63	純資産	658	705	+47
有形・無形固定資産	978	962	△16	(利益剰余金)	(139)	(170)	(+31)
投資その他資産	114	133	+19	(有価証券評価差額金)	(5)	(15)	(+10)
(投資有価証券)	(52)	(66)	(+14)	(為替換算調整勘定)	(3)	(10)	(+7)
固定資産計	1,092	1,095	+3	負債・純資産計	2,083	2,149	+66
資産合計	2,083	2,149	+66				

棚卸資産：国内排ガス規制前機作り溜め、AGCO受託在庫増

自己資本比率・有利子負債



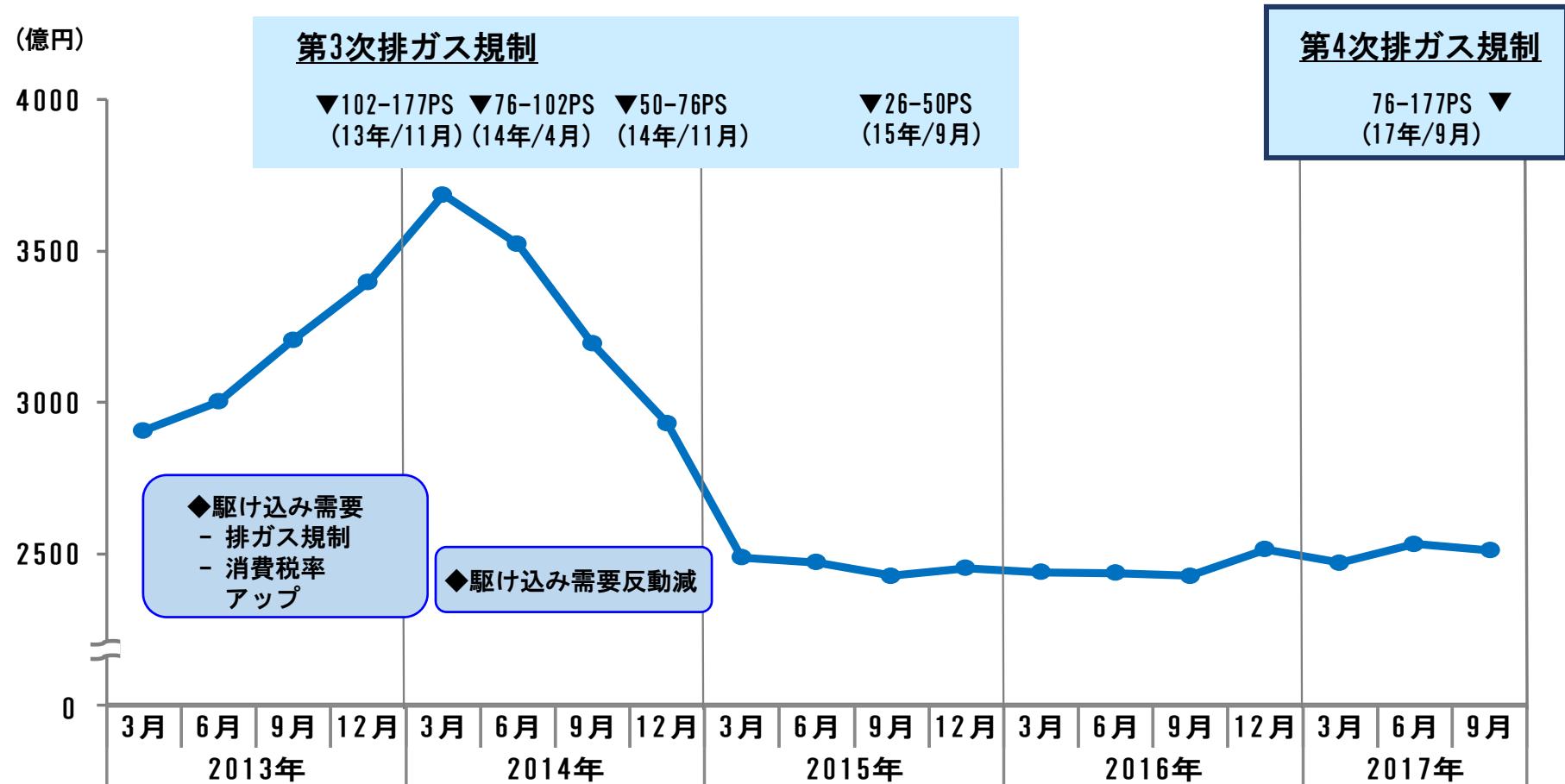
	13/9	14/9	15/9	16/9	16/12	17/9
借入金・社債	469	462	631	697	614	671
リース債務	67	80	92	85	81	71
有利子負債 計	536	542	723	782	695	742
D/Eレシオ	0.81倍	0.79倍	1.05倍	1.19倍	1.04倍	1.05倍

今期末D/Eレシオ1倍以内見込むが、成長投資は積極実施

2. 国内外市場の動向

国内市場の動向

農機需要〔業界出荷〕（主要9機種・移動年計）



排ガス規制により出荷は微増

国内農機出荷と当社状況

主要 9 機種 前年伸長率(金額、移動年計) ※当社推計

(単位：%)

		14/9	15/9	16/9	17/9
業界	(出荷金額)	100	76	100	104
当社	(実売金額)	97	89	98	96

排ガス規制により出荷先行。一方、実売は緩やか

国内 農業構造の変化と当社取組み

農業構造の変化

高齢化、農業人口減
⇒ 農業の大規模化

主食用米の作付転換
⇒ 野菜・畑作需要増

当社取組み

- 商品力強化
 - ▶ 低価格シンプル機
 - ▶ 先端技術(ロボット)
- 提案力強化
 - ▶ 夢総研他

担い手への取組み強化

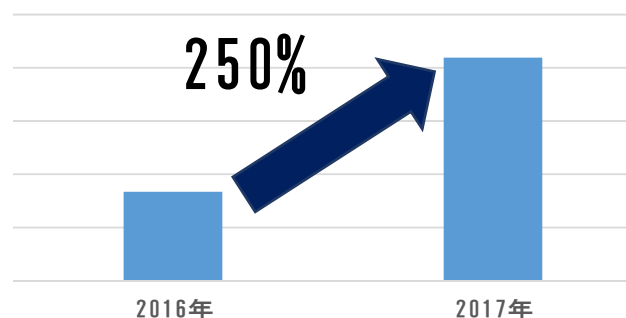
低価格・シンプル仕様

大型トラクタ T J X シリーズ

- ▶ 価格 2 割低減
- ▶ J A グループの
低価格モデル機に採用



< T J X シリーズ実売台数伸び率 (1~9月) >



資材費低減 ⇒ 低価格機ニーズ更に高まる

先端技術活用

ロボットトラクタ

- ▶ 労働力不足
- ▶ 熟練オペレーター不足

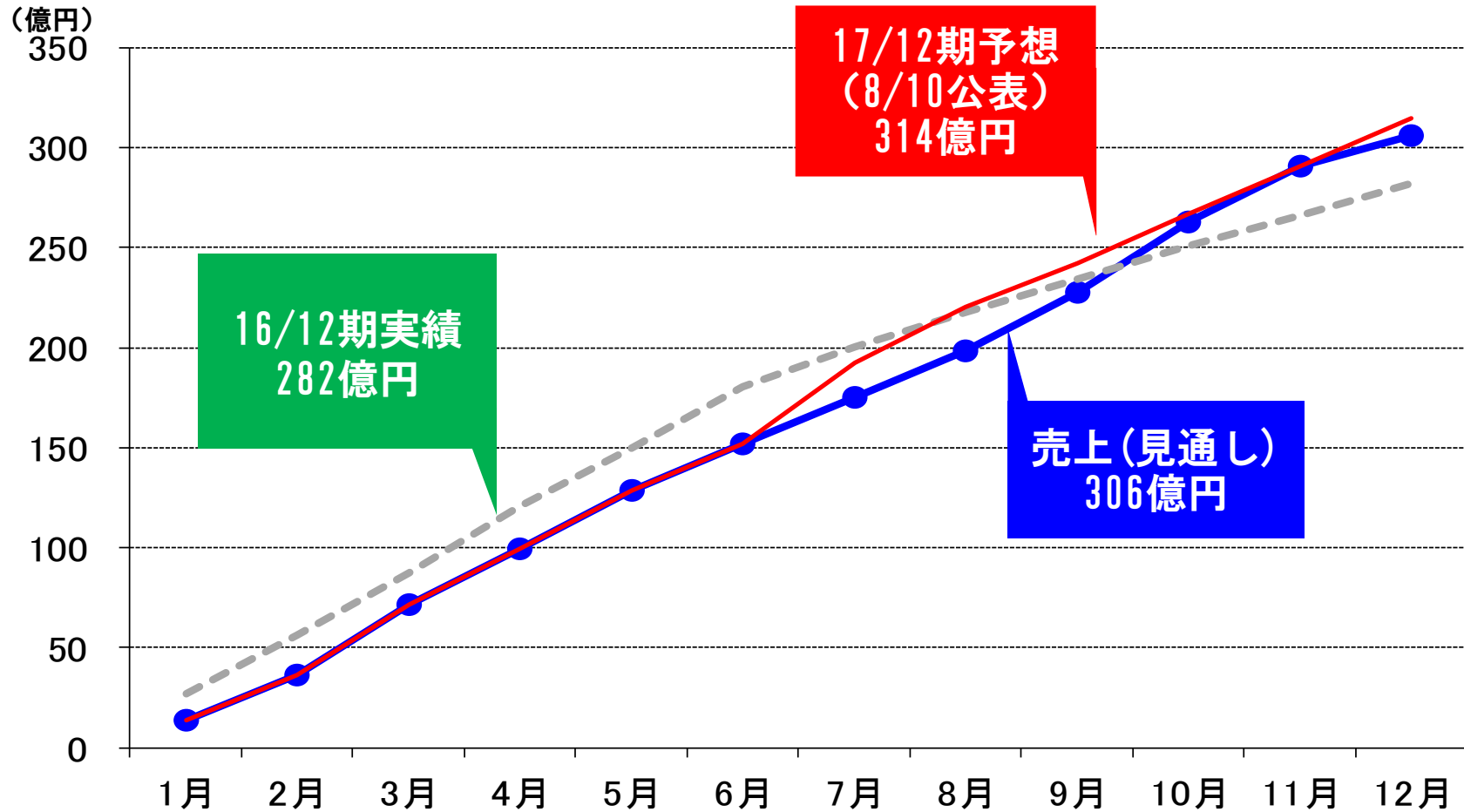
ロボット化

省力化・効率化



有人監視型 2018年中に商品化、市場投入

海外製品売上の状況



※製品ベース。「部品 その他」は含まず

業績予想比若干未達も前期比では増収

海外市場の動向 (北米)

1. 市場の動向

(単位：千台、%)

区分(PTO馬力)	ユーティリティ (40~100HP)		コンパクト (40HP以下)		大型クラス (100PS以上)	
	米国	カナダ	米国	カナダ	米国	カナダ
2016年1-9月	42.7	3.5	46.2	105.1	8.4	113.4
2017年1-9月	42.2	3.9	46.2	113.2	10.3	123.5
増減率	99%	111%	100%	108%	123%	109%

(出所：AEM統計)



2. AGCO社(OEM先)の状況

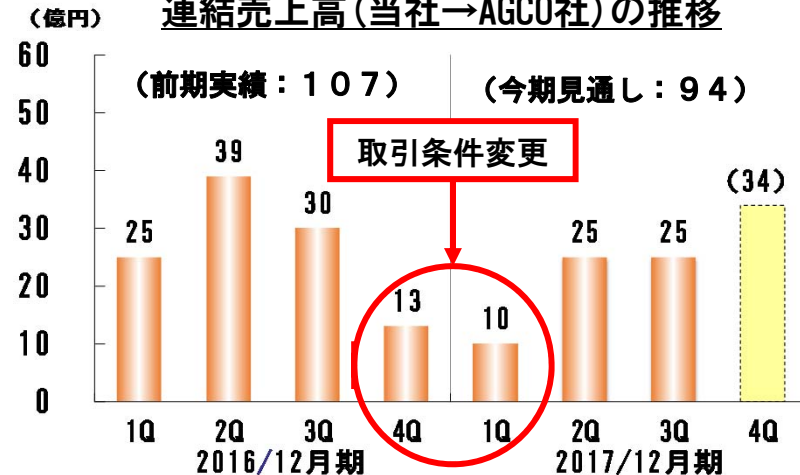
実売台数(17/1-9月)

- ユーティリティ：前年同期を上回る
- コンパクト：前年同期を上回る

3. 当社の売上・受注状況

出荷・受注(1-12月)：前年同期を下回る

連結売上高(当社→AGCO社)の推移



AGCO社実売堅調も、取引条件変更及びユーティリティ減により前年比微減見通し。

海外市場の動向（欧州）

1. 市場の動向

景観整備市場：乾燥による芝の生育不良。芝刈機需要低調。

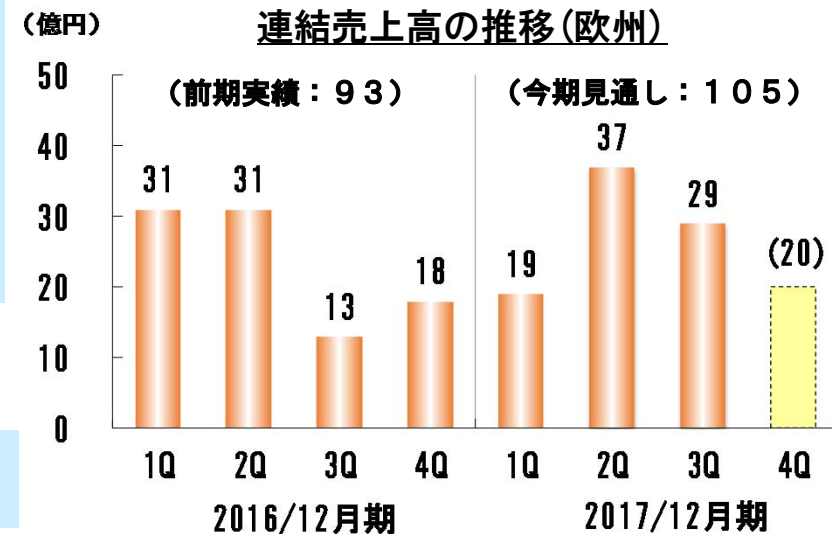
2. 販売代理店の状況

➤ 実売台数

- ・ 現地販売代理店(1-9月)：前年同期を上回る
- ・ ISEKIフランス(1-9月)：前年同期を上回る
(連結子会社)

3. 当社の売上・受注状況

出荷・受注(1-12月)：前年同期を下回る



仏・独での在庫調整一巡し、下期は当社出荷増。
ISEKIフランスも好調に推移し、前年比増収見通し。

海外市場の動向（アセアン：タイ）

1. 市場の動向

各地での洪水や、国葬による自粛の影響はあるも、米輸出量の増加により、今後米価の上昇が期待できる。

2. 現地販売会社〔ISEKI SALES (THAILAND)〕の状況

【三菱商事80%、当社20%出資】

アセアン戦略トラクタ

・実売台数(17/1-9月)：前年同期を上回る

- 買収した新規販売店での当社トラクタ販売開始。
- 現地実売堅調引き続き受注増見込む。



海外市場の動向（アセアン：その他）

■インドネシア

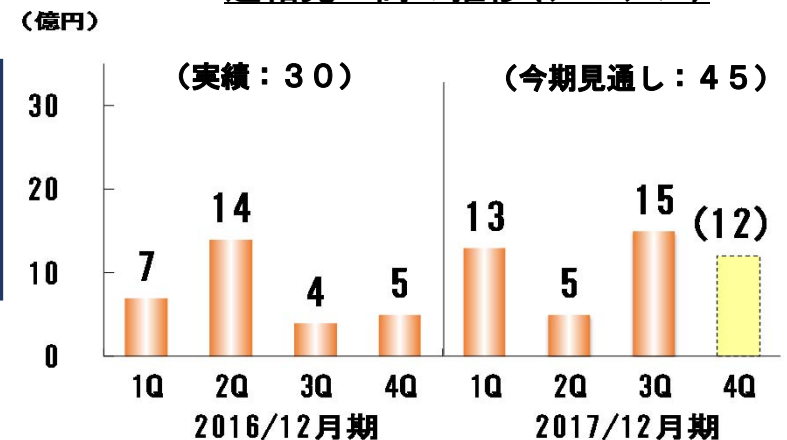
市場動向：2015年から続く政府主導の機械化推進による農機普及の後押し。
 当社状況：汎用コンバインの受注好調。入札外の販売も拡大。

■その他（ミャンマー等）

市場動向：機械化進展により需要が見込める。
 当社状況：トラクタ、汎用コンバイン受注。更なる事業拡大を目指す。

- 機械化進展による需要拡大。
- タイを中心に前期比大幅増収。

連結売上高の推移（アセアン）



インドネシア事業収益改善

PT. 井関インドネシア生産台数見通し

(単位：台)

	2014年 実績	2015年 実績	2016年 実績	2017年 計画
生産台数	1,100	3,900	7,300	8,300

2017年	
1-9月実績	年間見通し
6,150	8,500

生産機種	北米	●エコノミートラクタ(小)	●エコノミートラクタ(大)
	欧州		●エコノミートラクタ
	アセアン		●アセアン戦略トラクタ

<PT. 井関インドネシア増産体制へ>

現有生産能力： **10,000台/年**

2019年： **15,000台/年**

2021年： **20,000台/年**

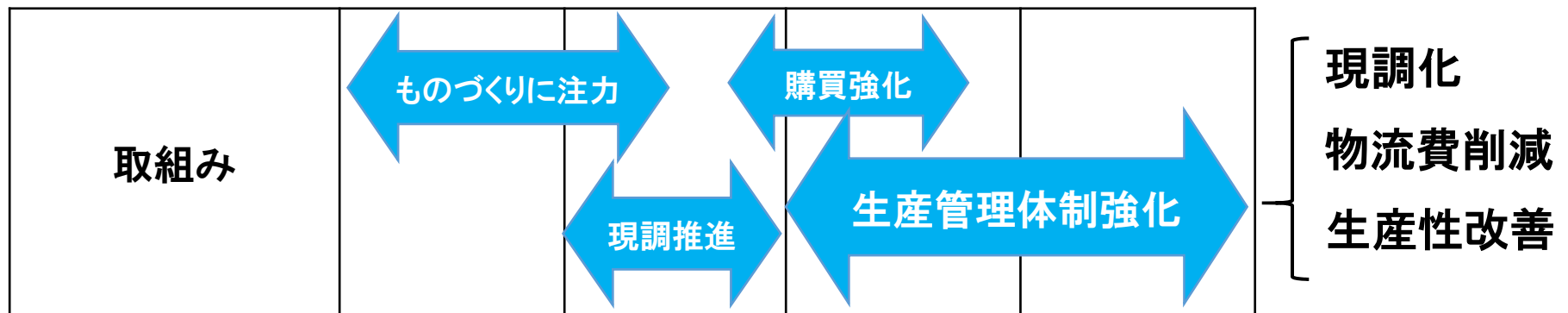
2019年 年産15,000台
体制の構築に向け
工場の増築(約8,200㎡)
に着工(10月)

インドネシア事業収益改善

PT. 井関インドネシアの取組みと収益状況

(単位：百万ドル)

	2014年 実績	2015年 実績	2016年 実績	2017年 計画	2017年 1-9月
売上高	12	37	68	88	61
営業利益	△ 3	△ 3	△ 2	4	2



資材調達最適化等の生産性向上に取組み、生産管理体制の強化を図る
⇒2017年度単年度黒字化を計画

海外市場の動向（中国）

1. 市場の動向

政府補助金の減少及び穀物価格下落により、農機市場全体の需要は停滞

■中央政府補助金

（億元）

2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
215	217.5	238	238	237	186

2. 東風井関の状況

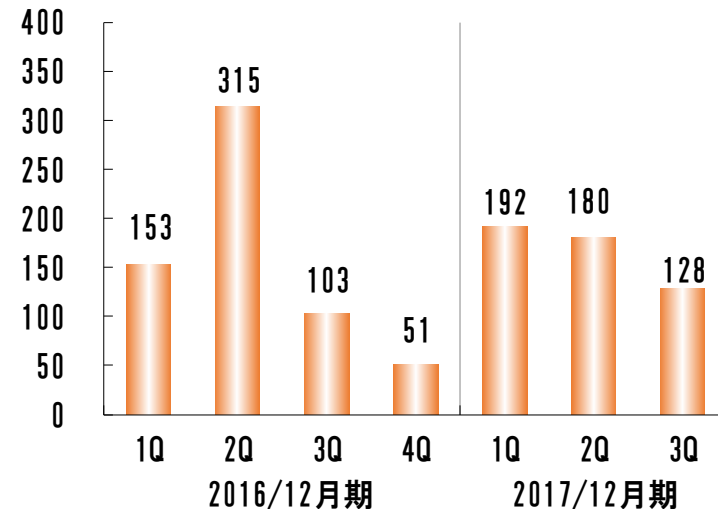
東風井関の販売台数(17/1-9月)

- 田植機(乗用) : 前年同期を下回る
- コンバイン : 前年同期を上回る

利益面では黒字回復

東風井関売上高推移(現地通貨ベース)

(百万元)



3. 2017年12月期 業績予想

2017年12月期 連結業績予想

(単位：億円)

	16/12期 実績	17/12期 今回予想	増 減 前期比	(ご参考)	
				前回予想	増 減
売上高	1,531	1,605	+74	1,605	-
(国内)	1,210	1,255	+45	1,243	+12
(海外)	321	350	+29	362	△12
営業利益	25	40	+15	40	-
経常利益	16	41	+25	41	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	9	29	+20	29	-
※期末配当(円)	1.5	30	-	30	-
為替感応度	米ドル	15	△ 2	13	-
(百万円、営業利益ベース)	ユーロ	17	+ 1	18	-

※2017年7月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。

・第4四半期想定為替レートは、米ドル112円 ユーロ128円
 ・前回予想：2017年8月10日公表予想

業績予想、配当予想は前回より修正無し

(ご参考) 四半期別推移

(単位：億円)

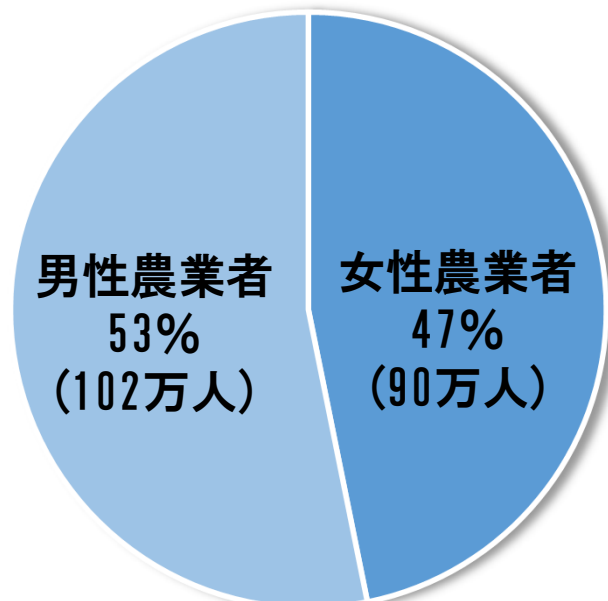
	15/12期 調整後実績				16/12期 実績				17/12期 公表			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	356	407	414	391	377	433	374	347	367	435	403	400
(国内)	269	332	329	324	282	331	306	291	285	343	315	312
(海外)	87	75	85	67	95	102	68	56	82	92	88	88
営業利益	△20	26	5	△9	△4	21	11	△3	△3	31	18	△6

第4四半期は季節要因により赤字傾向

4. トピックス

女性の活躍に向けて

農業就業人口



*農林水産省「農業労働力に関する統計」

女性農業者は47%
農業や地域活動の重要な担い手

2013年 農林水産省「農業女子プロジェクト」発足
農業女子 発足当時：37名 ⇒ 2017年：612名

女性農業者活躍サポート

農業女子プロジェクト（農林水産省主催）

- 農業女子の意見を取り入れた商品開発
- 女性農業者研修
各地域で継続して開催
- イベント出展



直近の取組み



□丸の内農園（農林水産省主催）
農業女子コーナー 11月4日～5日

農機業界の女性活躍サポート



第1回研修会の参加者

□日本農業機械工業会 女性活躍ネットワーク研修会
12月5日 つくばみらい事業所で受入れ予定

グループ内女性活躍サポート

つくばみらい事業所



研修風景



夢総研

IGTC

グループ内レベルアップ研修 女性用宿泊施設等充実



女性宿泊棟内観

将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。
 本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。



未来の
 ために、
 いま選ぼう。

井関グループは、
 環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
 促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
 「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
 環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。